

原料費調整制度に基づく都市ガス料金単価の調整について (2022年6月 検針分)

2022年1月～2022年3月のLNG及びLPGの貿易統計値が発表されました。
原料費調整制度に基づき、基準単位料金を調整させていただきます。

2022年6月 検針分の単位料金は、2022年5月 検針分 に比べて、1^m (45MJ)当り
0.74 円(消費税込)、標準家庭(26^m)では月額 19 円の調整を行うこととなりました。

●一般ガス供給約款料金における調整単位料金

(消費税込)

	単位	(A) 2022年5月	(B) 2022年6月	(B)-(A)
A料金表 (0 ^m ～24 ^m)	円/ ^m	261.27	262.01	0.74
B料金表 (24 ^m を超える)	円/ ^m	202.21	202.95	0.74

●平均原料価格

	単位	2021年12月 ～ 2022年2月	2022年1月 ～ 2022年3月	基準平均原料価格
LNG平均価格 (貿易統計値)	円/トン	87,420	88,180	
LPG平均価格 (貿易統計値)	円/トン	89,830	92,450	
平均原料価格	円/トン	87,920	88,770	46,100

平均原料価格=LNG平均価格×0.9541+LPG平均価格×0.0502

(10円未満端数四捨五入)

$$\begin{aligned} \text{原料価格変動額} &= \text{平均原料価格} - \text{基準平均原料価格} \quad (\text{平均原料価格が基準平均原料価格以上のとき}) \\ &= 88,770 - 46,100 = 42,600 \text{ 円/トン} \\ &\quad (100円未満端数切捨て) \end{aligned}$$

●調整単位料金の算定

平均原料価格が基準平均原料価格以上のとき

調整単位料金 = 基準単位料金 + 0.084 × 原料価格変動額 ÷ 100円 × (1 + 消費税率) (小数点第3位以下の端数切捨て)

	単位	(A) 基準単位料金	(B) 2022年6月 検針分 調整単位料金	調整額 (B)-(A)
A料金表 (0 ^m ～24 ^m)	円/ ^m	222.65	262.01	39.36
B料金表 (24 ^m を超える)	円/ ^m	163.59	202.95	39.36

●標準家庭のご使用例(1ヶ月分)

1ヶ月分使用量(^m)	(A) 2022年5月	(B) 2022年6月	影響額 (B)-(A)
26	7,428	7,447	19

計算式・・・基本料金(税込)+調整単位料金(税込)×使用量 (1円未満の端数は切り捨て)